

座・ガモールファーム 通信

Vol. 10 | 2023.10.01



サツマイモ収穫時の様子。毎年100kg近く収穫されます。

サツマイモの収穫。

秋涼の頃

暑い中にも涼しい日が増えてきた折、皆様いかがお過ごでしょ
うか。秋の味覚も旬を迎えていま
すね。

座・ガモールファームでも秋の
収穫を迎えています。10月にはサ
ツマイモの収穫や稲刈りを行いま
す。

サツマイモの収穫は座・ガモー
ルファームとしても大きなイベン
トのひとつです。例年100kg近く
の量が収穫され、多くの学生や職

員で協力して行います。

稲は稲刈りをした後に天日干し
をします。これを「はざ掛け」や
「はぜ掛け」と呼び、米の腐敗を
防ぎます。昨年は1.5m四方くら
いの田1つで栽培していましたが、
今年は倍以上栽培してみました。
自分たちで主食を作るという
のは感慨深いものがあります。
(小池)



収穫した稲を干しているところ。

※本ニュースレターは、JST「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点活動の一環として発行しています。座・ガモールファーム通信のバックナンバーを含むプロジェクトの概要は右のQRコードからご覧ください。



今月の活動

キャンパス農園班

こんにちは！キャンパス農園班の藤原です！

10月になり、陽が沈む速さが更に加速してきましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか？

11月11日には大学の南門広場で種子地蔵縁日が開催予定です。様々な団体が出展しますが、僕たちは、大学芋・ポップコーンの販売、伝統野菜の種の配布、キャンパス農園ツアーを行う予定です！大学芋とポップコーンは、実際に大学で栽培したものを使って調理をします！大学で栽培した野菜を、実際に皆様に食べていただく機会がないのでこの機会のは是非ご賞味ください！伝統野菜の種の配布は、4種類の野菜の種を配布する予定です！数に限りがあるので、早くきて頂ければ欲しいものをゲットできます！縁日当日に向けて現在班員全員で調整中ですのでお楽しみに！

南門広場では「伝統野菜」の栽培をスタートしました！伝統野菜ってなに？となる方も多いでしょう。伝統野菜には、特に明確な定義はなく、主に日本各地で古くから栽培されてきた地方野菜のことを言います。耳にしたことのあるものだと、九条ネギなどは聞いたことがあるのでは無いでしょうか？実は、大学周辺の滝野川地域にも伝統野菜が存在するのです！それが、滝野川ごぼうと滝野川ニンジンです！写真のものが先日購入した伝統野菜です！滝野川牛蒡や滝野川ニンジンは今回は無いのですが、様々な種類の伝統野菜を南門広場で栽培しています！通りかかった際はぜひご覧になってください！

種子地蔵縁日が終わるといよいよ大学でのイベントは無くなってしまうので、是非この機会に皆様訪れて頂いて、少しでも農園のことを知つてもらえたる嬉しいです。また、これからは大学のイベントに頼らない更に魅力的な活動を行なっていきますので乞うご期待！

それではまた次回！（藤原）



座・ガモールファーム



テラスで育つサツマイモ

10月になりやっと涼しくなってきましたね。ガモールファームも夏野菜の終わりとともに秋の空気が入ってきました。

さて、テラスではにんにくの植え付けが始まりました。国産にんにくは貴重ですが、栽培するのは意外と簡単です。来年をお楽しみに！

10月10日には朝日小学校の生徒と一緒にレイズドベッドを作るワークショップを行います。朝日小学校とはこれまで豊島区教育委員会で毎年行われている「SDGsフェスティバル」に向か、ガモールファームの見学ツアーや都市型水害に関する授業など様々な取り組みを行なつましたが、今回はその集大成としての取り組みになります。

また、10月後半になるとさつまいもの収穫も始まります。ガモールファームでは「銀座ミツバチプロジェクト」と連携し、収穫したさつまいもで焼酎を作るという活動を行なつますが(詳しくはvol.5をご覧ください)、もう一つのイベント「イモリンピック」にも参加しています。これは収穫したさつまいもの重さや収穫量を競うもので、大正大学はMVPを取つこともあるなど毎年好成績を收めています。今年はどうなるでしょうか？

埼玉校舎ではそろそろ稻刈りの季節です。去年から始めたミニ田んぼですが、今年も順調に育っています！また、今年は養蜂もうまくいっており、10月のどこかで採蜜をする予定です。野生の日本みづばちから採れた蜂蜜はとても貴重なので、こちらも楽しみですね！(山本)

詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見ることができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

